

株主の皆さまへ

2022年3月期（第122期）第2四半期

バルカーレポート

2021年4月1日 ▶▶ 2021年9月30日

Value & Quality

THE VALQUA WAY

基本理念

Value
&
Quality

(価値の創造と品質の向上)

4つの
経営理念

- ・ 社会の発展のために
- ・ 正正堂堂と
- ・ 世界中のステークホルダーへ
- ・ 独創的技術で

行動指針
10項

- 1 事業を通じた社会への貢献
- 2 顧客感動の提供
- 3 人格と個性の尊重
- 4 株主との信頼関係の構築
- 5 地域社会との共生
- 6 安全衛生は全てに優先
- 7 コンプライアンス遵守と誠実な行動
- 8 環境にやさしいモノづくり
- 9 資産の保全と有効活用
- 10 チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり

Value & Quality

価値の創造と品質の向上

ごあいさつ

株主の皆さまに2022年3月期（第122期）第2四半期バルカーレポートをお届けします。

当第2四半期までのわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う行動制限の影響により個人消費の戻りが限定的な水準にとどまり、また半導体不足等の影響を受けて企業の生産活動が停滞するなど、本格的な回復には至りませんでした。

一方、海外経済は、先進国においてワクチン接種が進み、個人消費や企業の生産活動が回復に向かいつつも、変異株による感染拡大への懸念が依然払しょくされていないことや資源価格の上昇などがそのペースを鈍らせることになりました。

このような事業環境下バルカーは、“ポストCOVID-19”を意識した事業展開を図る顧客への対応を強化するとともに、その先を展望した新たな価値創造に向けて成長市場へのサプライチェーンの拡充とDX（デジタル・トランスフォーメーション）を柱とする構造改革を推進しました。

当第2四半期までは前年同期を上回る業績となりましたが、当期後半に向けては新型コロナウイルス感染症の変異株による再拡大、米中問題、資源価格のさらなる上昇など懸念される材料が多く存在し、事業環境は決して楽観できるものではありません。

そのようななかバルカーは、足許の業績回復をより力強いものとしつつ、“未来と未知に挑むチャレンジングな企業”としてバルカーの健全で持続的な成長の実現、そして地球全体の価値創造と保護に向けた活動を続けてまいります。

2021年12月

代表取締役会長CEO

龍澤 利一



シール製品
事業売上高 **16,894** 百万円売上高
構成比 **68.3** %事業
概況

シール製品事業は、半導体製造装置・デバイスなど先端産業市場向けの拡大と自動車など機器市場向けの回復により、売上高は168億9千4百万円（前年同期比9.7%増）、セグメント利益は23億5百万円（同10.0%増）となりました。

今後の
展開

バルカーグループの主力事業として、先端産業市場における業容を拡大するとともに、機器市場やプラント市場に向けては新たな顧客価値を提供し、収益力の向上を図ってまいります。

機能樹脂製品
事業売上高 **6,504** 百万円売上高
構成比 **26.3** %事業
概況

機能樹脂製品事業は、航空機や重電機器など機器市場向けの販売が停滞したものの、半導体製造装置・デバイスなど先端産業市場向けと高機能化学品プラントなどプラント市場向けの需要が大きく回復し、売上高は65億4百万円（前年同期比31.8%増）、セグメント利益は4億8千3百万円（前年同期はセグメント損失3億3千9百万円）となりました。

今後の
展開

先端産業市場・プラント市場向け戦略製品を軸にグローバルシェアの拡大を実現しつつ、選択と集中を強く意識した事業改革を推進し、収益性の改善を図ってまいります。

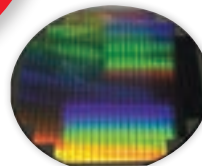
事業
概況

シリコンウエハーリサイクル事業他は、主力事業は堅調に推移したものの、新規事業分野を含むH&S事業の状況が好転せず、売上高は13億4千1百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント損失は9千1百万円（前年同期はセグメント損失6千9百万円）となりました。

今後の
展開

シリコンウエハーリサイクル事業における収益力の強化に加え、H&S（ハード&シールエンジニアリング・サービス）事業の業績化を速やかに図り、新たな価値創造を具現化してまいります。

連結売上高
24,740
百万円

シリコンウエハー
リサイクル事業他売上高 **1,341** 百万円売上高
構成比 **5.4** %

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

四半期連結損益計算書

単位：百万円

科目	前第2四半期累計期間 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	当第2四半期累計期間 自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日
売上高	21,630	24,740
売上原価	13,006	14,939
売上総利益	8,624	9,801
販売費及び一般管理費	6,938	7,104
営業利益	1,685	2,696
経常利益	1,762	2,815
税金等調整前四半期純利益	2,558	2,772
四半期純利益	1,807	1,992
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,803	1,916

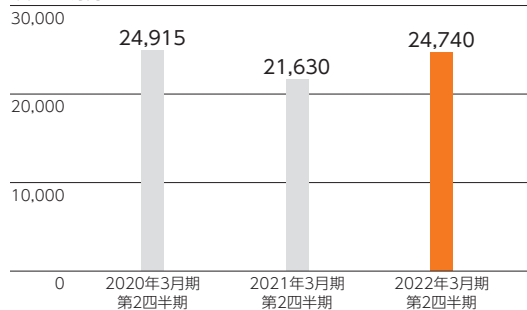
四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末 2021年3月31日	当第2四半期末 2021年9月30日
資産の部		
流動資産	29,698	32,664
固定資産	22,993	24,746
資産合計	52,691	57,411
負債の部		
流動負債	10,764	12,297
固定負債	4,653	5,639
負債合計	15,417	17,936
純資産の部		
株主資本	34,335	35,448
その他の包括利益累計額	1,311	2,254
非支配株主持分	1,627	1,771
純資産合計	37,274	39,474
負債純資産合計	52,691	57,411

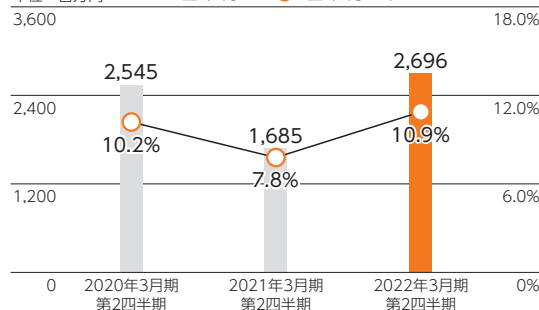
売上高

単位：百万円



営業利益 / 営業利益率

単位：百万円



配当

	中 間	期 末	年間配当
2020年3月期	50.0 円	50.0 円	100.0 円
2021年3月期	45.0 円	50.0 円	95.0 円
2022年3月期	50.0 円	55.0 円 (予想)	105.0 円 (予想)

ふっ素樹脂特殊タンクの グローバル展開の中核拠点に

— 台湾バルカー国際、新工場稼働開始 —

バルカーの台湾現地法人である“台湾バルカー国際”の新工場がこのたび竣工し、戦略製品として位置づける“ふっ素樹脂特殊タンク”などの生産を開始しました。

●半導体生産を支えるふっ素樹脂

半導体の生産工程では、大量・多種の化学品が液体・気体（ガス）となって使用されますが、なかには一般的な樹脂や金属では耐えることができない化学特性を持つものもあり、その貯蔵と輸送には特別な素材を用いた容器などが必要となります。

そこで活躍するのが、バルカーの機能樹脂製品事業の中心となる素材であるふっ素樹脂です。

ふっ素樹脂は、化学品に強い、摩擦が少ない、熱

に強い、絶縁性能が高い、など優れた特性を持っており、幅広い産業の生産設備や機械部品として使用されています。

そのふっ素樹脂の板に特殊加工を施し、金属製の容器に内張りしたものがふっ素樹脂特殊タンクであり、世界各地の半導体・化学・医薬品等の工場で貯蔵用として大型のものが、また製品の輸送用として小型のものが活躍しています。

●バルカーのふっ素樹脂特殊タンク

バルカーのふっ素樹脂特殊タンクは、使用されるふっ素樹脂の高い品質、内張りなどの精緻な加工と仕上げ、寿命診断をはじめとする充実したアフターサービスなどの点から国内外のお客さまから厚い信頼を得ており、供給能力の拡大が求められてきました。

それに対しバルカーは、ふっ素樹脂特殊タンクを戦略製品として位置づけ、グローバルサプライチェーンの整備や品質向上への技術開発などを推進してきました。

今回の台湾バルカー国際の新工場の建設は、その

総仕上げともいえるものです。

新工場の稼働開始とタイミングを合わせるかのように、バルカーのふっ素樹脂特殊タンクへの需要は一段と高まっています。

グローバル経済回復への阻害要因になりかねない半導体不足の解消に向け、アジアや米国を中心に半導体工場や関連する化学品プラントの増強が進んでいるのです。

バルカーは、新工場での生産効率をさらに高める

ことにより、世界各地の半導体や化学品工場に向けて迅速かつ安定した製品の供給を実現し、社会的な問題にもなっている半導体不足解消に貢献していきます。



新工場（右）で出荷前の最終工程にある
ふっ素樹脂特殊タンク



独自技術により脱炭素社会の実現に寄与

— BLISTANCE™ Series 水素向けに充実 —

バルカーは、耐ブリスター性能に優れた新コンセプトシール“BLISTANCE™ Series”の開発に成功し、水素市場向けをはじめ製品ラインナップの充実を進めています。

●永年のシールの課題“ブリスター現象”

ブリスター現象とは、タンクや配管などの内部に高圧で圧縮されていた気体（ガス）が、機器等の作動により急速に減圧されて膨張しシール材に大きなダメージを与える現象で、シールの長い歴史のなかでも解決が難しい課題のひとつとされてきました。

特に近年は圧力変動に加え、LNG・LPGの使用量増加や化学品の多様化などに伴い、シール材の使用環境における高温・低温間の温度変化がより速く、

激しいものとなり、ブリスター現象の対応がより困難なものとなっていました。

そのようななか、その解決がより急がれる状況が生まれました。

地球温暖化が進み、脱炭素化社会の実現が人類共通の課題となり、水素に関する技術開発への社会的要請が急激に高まってきたのです。

●水素用シールの決定打

バルカーが開発を進めているBLISTANCE™ Seriesは、独自の配合設計技術と新素材を使用することにより、ブリスター現象への耐性に加え、温度変化が激しい環境下における高いシール性を実現した産業界待望のシール材です。

BLISTANCE™ Seriesは、水素・蒸気・冷媒・LNGなどの各種高圧流体向けの専用製品をラインナップしていますが、なかでも今後の活躍が期待されるのが水素向けです。

なエネルギー源として期待されてきました。

しかし、その活用には多くのハードルがあり、なかでも難しい課題として位置づけられてきたのが、貯蔵・輸送などあらゆる場面におけるブリスター現象の克服だったのです。

ブリスター現象に関する問題を解決できるBLISTANCE™ Seriesの登場は、この状況を大きく変えるものとして水素に関わる産業界から歓迎されています。

今後、水素は自動車や船舶の燃料、家庭用発電ソースなどとして私たちにより身近なものとなっていくと考えられていますが、活用が進むのと並行して新たな技術的な課題が見つかるかもしれません。

それに対しバルカーは、独自の技術を磨き続けBLISTANCE™ Seriesをさらに進化させ、未知の難題を解決し、脱炭素社会の実現を支えていきます。



水素は燃焼する際でも二酸化炭素を排出せず、製造時も化石燃料をさほど大量には必要としないことから、以前よりクリーン

会社の概況 (2021年9月30日現在)

社 名	株式会社バルカー (英文表記 VALQUA, LTD.)
創 業	1927年1月21日
設 立	1932年4月8日
資本金	13,957百万円
発行済株式総数	18,688,733株
株主総数	26,492名
従業員数	416名 (連結 1,772名)

役 員 (2021年10月1日現在)

取締役

代表取締役会長 C E O	瀧澤 利一
代表取締役社長 C O O	本坊 吉博
取 締 役 専 務 執 行 役 員 C T O 兼 C Q O	青木 睦郎
取 締 役 専 務 執 行 役 員 C D O	中澤 剛太
取締役 (社外)	関 忠行
取締役 (社外)	関根 近子
取締役 (社外)	齊藤 三希子

監査役

常 勤 監 査 役	高 昭夫
監査役 (社外)	八戸 孝彦
監査役 (社外)	高橋 秀法

CEO：最高経営責任者
COO：最高執行責任者
CTO：最高技術責任者
CQO：最高品質責任者
CDO：最高デジタル責任者
CCO：最高コンプライアンス責任者

執行役員

専務執行役員	小林 健一
専務執行役員	櫻井 慎也
常務執行役員	森田 信利
常務執行役員	椿山 善昭
常務執行役員	瀧澤 利治
常務執行役員	小川 禎
常務執行役員 C C O	谷田部 麻美子
執 行 役 員	立田 寛
執 行 役 員	植木 聡
執 行 役 員	野邊 淳嗣
執 行 役 員	伏屋 克俊
執 行 役 員	今井 将廣
執 行 役 員	後藤 智子
執 行 役 員	神田 大輔

株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基 準 日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人
および特別口座
口 座 管 理 機 関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事 務 取 扱 場 所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(ホームページ) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公 告 方 法 電子公告
<https://www.valqua.co.jp/ir/koukoku.html>
ただし、事故その他やむを得ない事由により
電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部



〒141-6024
東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower24階
TEL：03-5434-7370 FAX：03-5436-0560
URL：<https://www.valqua.co.jp/>



※ この報告書は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。